

# えっとまめな介護だより Vol.18

市内の介護サービス事業所では、介護職員の負担軽減や業務の効率化、働きやすい職場づくりに向けてさまざまな取組を実施しています。今回は、介護人材確保対策の具体的な取組についてインタビューしました！

## グループホーム あじさい（幸町）

### 具体的な取組

介護の専用ソフトを導入し、入浴や食事の様子、バイタル（脈拍・体温・血圧等）などをタブレットを活用して記録しています。

### 取組の効果

タブレットを活用するまでは、職員が記録用紙に一つ一つ手書きで記入していたので、記録作業に相当な時間を要していました。しかし、電子記録が可能になったことで記録に要する時間が短縮され、その分、利用者に関わる時間が増えたほか、書類の整理もわかりやすくなりました。また、画像での記録が可能なので、担当看護師や医療機関と相談する際に必要に応じて画像を確認していただくことができ、情報共有がしやすくなりました。

### 今後の取組

今後も業務のスリム化を図ることで利用者と関わる時間をもっと増やしていきたい、利用者やその家族、地域のニーズに応えながら地域に貢献していきたいと思えます。また、入職者への丁寧な対応と指導を心がけ、福祉の分野で働く人が増えるようにしていきたいです。

※津田町の「あじさい本館」あじさい1号館」でも同様の取組を実施しています。



（左から）宮内さん、武田統括

## グループホーム 悠心彩・中西（市原町）

### 具体的な取組

タブレットの活用、資格取得のためのバックアップ、腰痛予防の研修、電動ベッドの導入などによる職員の負担軽減をはじめ、5年毎の永年勤続表彰（勤続年数）によって商品券や宿泊旅行などを贈呈の実施など職員のやる気上がるような職場環境づくりをしています。

### 取組を始めたきっかけ

一番は職員の負担軽減のためです。このことは事業所の開設当初から考えています。労働時間も3交替でソフトを組んでいます。有給休暇取得率が高いのも特徴です。日頃、仕事を頑張っている職員への感謝の気持ちを込めて実施しています。職員に快適に業務に就いてもらうことを心がけています。

### 取組の効果

タブレットを活用することで記録に要する時間の短縮や事務の負担軽減につながっています。その結果、利用者へのケアに時間を割くことができ、利用者、職員ともに穏やかに過ごせる環境になっていると思います。電動ベッドの導入は、年配の職員から「負担が全然違う」と好評を得ています。職員会議では、職員から活発に意見が出されます。職員の声は管理職に届け、内容によっては社長まで届けます。



### 今後の取組

地域の高齢者を支え、地域の方々との協力・連携し、良い関係を築きながら一緒に地域を盛り上げていきたいと考えています。

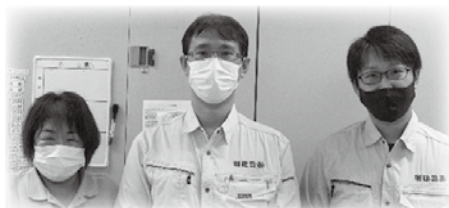
※併設の「小規模多機能ホーム ホリデー・市原」でも同様の取組を実施しています。

### その他の事業所でもさまざまな工夫した取組を行なっています！

昭和町にある「七尾苑（通所介護）」では、入職して1年経過後に特別休暇4日を付与、永年勤続表彰（勤続10年から5年毎）の実施、さらに職員の誕生日には施設長からのお祝いメッセージと地元スーパーの商品券を贈呈しています。年を重ねると、自分の誕生日をお祝いされる機会が少なくなりますが、こうして周りから祝福されると嬉しくなります。休暇制度も充実しており、子の看護休暇や産休・育休の取得など職員が働きやすいように環境整備を行なっています。長年勤務している職員、勤務経験の浅い職員がともにしっかりとコミュニケーションをとって、誰もが安心して働ける職場を目指しています。



岩崎課長



（左から）高山課長、堀社長、堀専務

インタビューにご協力いただいた皆さん、ありがとうございました！